

東方の博士たち

マタイによる福音書 2:1~12

2018. 12. 30 熊取教会

1 イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。そのとき、占星術の学者たちが東の方からエル
5 サレムに来て、² 言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその
方の星を見たので、拝みに来たのです。」³ これを聞いて、ヘロデ王は不安を抱いた。エルサレムの人々も皆、同様であ
った。⁴ 王は民の祭司長たちや律法学者たちを皆集めて、メシアはどこに生まれることになっているのかと聞いた。だ
10 ⁵ 彼らは言った。「ユダヤのベツレヘムです。預言者がこう書いています。⁶ 『ユダの地、ベツレヘムよ、／お前はユダの
指導者たちの中で／決していちばん小さいものではない。お前から指導者が現れ、／わたしの民イスラエルの牧者とな
るからである。』」⁷ そこで、ヘロデは占星術の学者たちをひそかに呼び寄せ、星の現れた時期を確かめた。⁸ そして、「行
って、その子のことを詳しく調べ、見つかったら知らせてくれ。わたしも行って拝もう」と言ってベツレヘムへ送り出
した。⁹ 彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が先立って進み、ついに幼子のいる場所の上に止まった。¹⁰ 学
者たちはその星を見て喜びにあふれた。¹¹ 家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子
を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。¹² ところが、「ヘロデのところへ帰るな」と夢でお
15 告げがあったので、別の道を通って自分たちの国へ帰って行った。

【はじめに】

クリスマスが終わりました。クリスマス礼拝とキャンドルサービスを一日で行ったのは
久しぶりで、皆、慌ただしい思いをなさったのではないかと思います。それぞれにご奉仕
20 下さり、心から感謝申し上げます。今年は元旦礼拝がありませんので、室内の飾りつけな
どは1月6日を過ぎるまで、できれば残しておきたいと思います。1月6日というのは公
現日と呼ばれる日です。今までも、クリスマス・ツリーは片づけないで公現日を過ぎる
まで置いておりました。0 兄が例年そのようにしておられました。

【公現日】

公現日という日は毎年1月6日、クリスマスから12日目です。その日、イエス様が異
邦人にご自分を現わされたとされています。古代には、こちらをイエス様の誕生日である
とした教会もありましたが、今では、その日に、東方の占星術の学者たちがイエス様に会
い、礼拝を捧げた日とされています。今日は一週間早めて、その聖書箇所を学びます。

30

【博士たち】

¹ イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。

このヘロデ王は、ヘロデ王朝を開いたヘロデ大王のことです。在位期間は紀元前37年
から紀元前4年まで。ヘロデ家はユダヤ人ではありません。エドム人つまりヤコブの兄
35 エサウの子孫です。ヘロデ大王はローマ帝国の指導層に取り入って、彼らの力を利用して
ユダヤを自分のものとして治めました。疑い深く冷酷で、自分の権力を守るために息子た
ちや妻の兄弟家族、さらには妻でさえも殺しました。その、独裁者ヘロデ大王の治世にイ
エス様はベツレヘムで生まれました。ルカ福音書には、ローマ皇帝とシリア提督の名を挙

げて、イエス様の生まれた年代を示しています。それに対して、マタイ福音書は、ユダヤの統治者のヘロデの名によって、時代を特定しています。どちらの福音書も、時と所を特定して、イエス様がこの世に生まれた方、歴史的の中に実在する人であることを示しています。

5

【東方の博士たち】

¹そのとき、占星術の学者たちが東の方からエルサレムに来て、²言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」

10 教会学校でクリスマスの劇をするとき、東方の博士たちが登場します。3人。これは贈り物が3つあるから、3人だということになっております。けれども、聖書には人数は書かれていません。ただし複数形ですので一人ではありません。

「占星術の学者」と、テキストでは訳されていますが、口語訳などでは、「博士」です。語りやすいので、今日の説教では、「博士」とさせていただきます。博士たちは、天文学や
15 占星術をする学者であり、ユダヤ教の知識をも持っている者と、ここでは考えられています。「東の方」とはどここの国かわかりませんが、聖書の預言にある程度知識があったようですので、おそらく、バビロニア辺りではないか、と考えられます。紀元前587年バビロン捕囚によって、エルサレムから学者や祭司たちが東の国に大勢連れてゆかれました。神殿の財宝ばかりでなく、書物や資料も、バビロンに移されました。また、先般学びましたように第二イザヤ書はバビロンで書かれています。エゼキエル書もバビロンです。そう
20 いった資料は、イエス様の時代にもバビロンに残っていたでありましよう。バビロン捕囚から50年後、人々は解放されエルサレムに帰りましたが、バビロン生まれの世代は、そのまま留まった人々も少なくなかったようです。ですから、東方の人々もイザヤの預言、＝「やがて救い主があらわれる」というその預言を、よく知っていました。イエス様誕生
25 の当時、カナン地方を含む地中海世界は、ローマ帝国による安定した世界でしたが、東の国々は戦乱の時代でした。国は荒れ、世は暗黒時代でした。つまり主イエスがお生まれになるころ、東の方の国々には闇と無法が支配していた。人々は救い主の現れるのを待っていた。そして、とうとうその星が現れた。

「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方で
30 その方の星を見たので、拝みに来たのです。」³これを聞いて、ヘロデ王は不安を抱いた。学者たちの言葉を聞いて、ヘロデは自分の地位が奪われる危険を感じたでありましよう。疑り深い性格から、自分の妻や子供たちさえも死刑にした冷酷な男でした。エルサレムの人々も皆、同様であった。

エルサレムの人々の不安は、動乱時代が来ることへの不安でした。ヘロデは、暴力的で
35 冷酷で残酷でしたが、政治的能力のある王でした。ヘロデ王朝で「大王」と呼ばれるのは彼だけです。王に政治的能力があれば、一般庶民は、苦しくても安定した生活ができます。しかし、二人の王が立って争えば混乱と暴力、流血が起きる。エルサレムの人々の不安はそれでした。今の生活を、人々は乱されたくない。厄介なことは起きて欲しくない。だから、ユダヤ人の王が生まれたと聞いて、人々も不安を感じました。

4 王は民の祭司長たちや律法学者たちを皆集めて、メシアはどこに生まれることになって
いるのかと問いただした。 5 彼らは言った。「ユダヤのベツレヘムです。預言者がこう書
いています。 6 『ユダの地、ベツレヘムよ、／お前はユダの指導者たちの中で／決してい
5 ちばん小さいものではない。お前から指導者が現れ、／わたしの民イスラエルの牧者とな
るからである。』 これはミカ書5章1節の言葉です。

バビロニア捕囚の起きる100年も前から、ユダヤの滅亡を予言した書物です。しかも、滅亡のなかから再び立ち上がるであろう、と予言したミカ書。このミカ書から、祭司長たちはベツレヘムにメシアがあらわれると読み解きました。

10 7 そこで、ヘロデは占星術の学者たちをひそかに呼び寄せ、星の現れた時期を確かめた。
8 そして、「行って、その子のことを詳しく調べ、見つかったら知らせてくれ。わたしも行
って拝もう」と言ってベツレヘムへ送り出した。

ヘロデ大王が、幼子を拝む、などということはありません。ライバルとなる可能性のあるものは、芽の内に摘み取る。ヘロデはそれまでそうやってきました。でなければ王座を守れるものではありません。「わたしも行って拝もう」とは、彼の目論見が見え見えです。

【旅を続ける博士たち】

20 9 彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が先立って進み、ついに幼子のいる
場所の上に止まった。 10 学者たちはその星を見て喜びにあふれた。

博士たちは、星を見て、ユダヤの王様が生まれたことを知った。それがどんなことであつたか、いろいろな説があります。有名なものでは、天文学者ケプラーが唱えたものがあります。ケプラーはニュートンに先立つ天文学者であり、惑星の運動に関する法則を見出したことで知られています。その、ケプラーの計算では、イエス様の生まれた頃、木星と金星の「合」が年に3度起きた。夕方西空で木星(幸運の星)と土星(ユダヤの守護星)がより
25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35
36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50
51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
61 62 63 64 65 66 67 68 69 70
71 72 73 74 75 76 77 78 79 80
81 82 83 84 85 86 87 88 89 90
91 92 93 94 95 96 97 98 99 100
101 102 103 104 105 106 107 108 109 110
111 112 113 114 115 116 117 118 119 120
121 122 123 124 125 126 127 128 129 130
131 132 133 134 135 136 137 138 139 140
141 142 143 144 145 146 147 148 149 150
151 152 153 154 155 156 157 158 159 160
161 162 163 164 165 166 167 168 169 170
171 172 173 174 175 176 177 178 179 180
181 182 183 184 185 186 187 188 189 190
191 192 193 194 195 196 197 198 199 200
201 202 203 204 205 206 207 208 209 210
211 212 213 214 215 216 217 218 219 220
221 222 223 224 225 226 227 228 229 230
231 232 233 234 235 236 237 238 239 240
241 242 243 244 245 246 247 248 249 250
251 252 253 254 255 256 257 258 259 260
261 262 263 264 265 266 267 268 269 270
271 272 273 274 275 276 277 278 279 280
281 282 283 284 285 286 287 288 289 290
291 292 293 294 295 296 297 298 299 300
301 302 303 304 305 306 307 308 309 310
311 312 313 314 315 316 317 318 319 320
321 322 323 324 325 326 327 328 329 330
331 332 333 334 335 336 337 338 339 340
341 342 343 344 345 346 347 348 349 350
351 352 353 354 355 356 357 358 359 360
361 362 363 364 365 366 367 368 369 370
371 372 373 374 375 376 377 378 379 380
381 382 383 384 385 386 387 388 389 390
391 392 393 394 395 396 397 398 399 400
401 402 403 404 405 406 407 408 409 410
411 412 413 414 415 416 417 418 419 420
421 422 423 424 425 426 427 428 429 430
431 432 433 434 435 436 437 438 439 440
441 442 443 444 445 446 447 448 449 450
451 452 453 454 455 456 457 458 459 460
461 462 463 464 465 466 467 468 469 470
471 472 473 474 475 476 477 478 479 480
481 482 483 484 485 486 487 488 489 490
491 492 493 494 495 496 497 498 499 500
501 502 503 504 505 506 507 508 509 510
511 512 513 514 515 516 517 518 519 520
521 522 523 524 525 526 527 528 529 530
531 532 533 534 535 536 537 538 539 540
541 542 543 544 545 546 547 548 549 550
551 552 553 554 555 556 557 558 559 560
561 562 563 564 565 566 567 568 569 570
571 572 573 574 575 576 577 578 579 580
581 582 583 584 585 586 587 588 589 590
591 592 593 594 595 596 597 598 599 600
601 602 603 604 605 606 607 608 609 610
611 612 613 614 615 616 617 618 619 620
621 622 623 624 625 626 627 628 629 630
631 632 633 634 635 636 637 638 639 640
641 642 643 644 645 646 647 648 649 650
651 652 653 654 655 656 657 658 659 660
661 662 663 664 665 666 667 668 669 670
671 672 673 674 675 676 677 678 679 680
681 682 683 684 685 686 687 688 689 690
691 692 693 694 695 696 697 698 699 700
701 702 703 704 705 706 707 708 709 710
711 712 713 714 715 716 717 718 719 720
721 722 723 724 725 726 727 728 729 730
731 732 733 734 735 736 737 738 739 740
741 742 743 744 745 746 747 748 749 750
751 752 753 754 755 756 757 758 759 760
761 762 763 764 765 766 767 768 769 770
771 772 773 774 775 776 777 778 779 780
781 782 783 784 785 786 787 788 789 790
791 792 793 794 795 796 797 798 799 800
801 802 803 804 805 806 807 808 809 810
811 812 813 814 815 816 817 818 819 820
821 822 823 824 825 826 827 828 829 830
831 832 833 834 835 836 837 838 839 840
841 842 843 844 845 846 847 848 849 850
851 852 853 854 855 856 857 858 859 860
861 862 863 864 865 866 867 868 869 870
871 872 873 874 875 876 877 878 879 880
881 882 883 884 885 886 887 888 889 890
891 892 893 894 895 896 897 898 899 900
901 902 903 904 905 906 907 908 909 910
911 912 913 914 915 916 917 918 919 920
921 922 923 924 925 926 927 928 929 930
931 932 933 934 935 936 937 938 939 940
941 942 943 944 945 946 947 948 949 950
951 952 953 954 955 956 957 958 959 960
961 962 963 964 965 966 967 968 969 970
971 972 973 974 975 976 977 978 979 980
981 982 983 984 985 986 987 988 989 990
991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000

30 彼らは、昼間は木陰で休み、夜旅をする。北極星は北がどちらかをいつも示してくれる。星座の位置と季節から時刻が分かる。こうして彼らは星を手がかりに進路を定めながら、旅をしてきた。そして、エルサレムに到着し、王の宮殿にたどり着き、ベツレヘムという手がかりを得ました。南に向けて旅を続け、ついに、ベツレヘムの夜空で、再びかれらは、あの二つの明るい星が出会っているのを、見たのでありましよう。

35 その星を見て彼らはよろこびにあふれた。

彼らは長い一生をかけて星を研究し聖書を学んできました。思えばそれは、救い主を仰ぎ救い主にお会いするためでありました。今やその長年の思いが叶う。労苦が叶う。彼らは喜びにあふれました。東方からはるばる旅をしてきた学者たち。彼らを導いてきた星が示した家に入ってみると、

11 幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。

5 彼らは喜びにあふれた。それは神の救いがここに始まったことを知ったからです。博士たちは神の約束の成就を見た。それは「インマヌエル」。神が私たちと共にいて下さる。これが、この幼子の与えられた意味です。

「神共にいます」は、マタイ福音書の重要な主題です。神ともにいます。それゆえ、マタイ福音書は、その最終章最終節の最後をこう閉じています。マタ 28:20b わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」

10 このことこそ救いの本質です。私たちは放っておかれるのではない。神が共にいて下さる。詩 37:24 「人は倒れても、打ち捨てられるのではない。主がその手をとらえていてくださる。」 と詩編 37 にあるとおりです。

15 東方から旅をしてきた学者たちが喜んだのは、神が省みてくださった、ということです。東方は闇黒の時代でしたが、しかし神がともにいて下さる。その徴を彼らは見た。彼らは約束の幼子を見た。東の国の学者たちは、救いのない世界から救い主を求めてはるばる旅をしてきました。みどり子イエスに挨拶し大事なものを捧げる。彼らが携えてきた贈り物は、彼らの商売道具でした。博士たちは星の語る場所に耳を傾け、宇宙の神秘を探るだけでなく、人々の癒しを行う医者であり、死者を弔う祭司でもありました。黄金、乳香、没薬は、彼らの務めを果たすためになくてはならないものであった。しかし、今や、メシアが現れ、かれらの務めは全てその幼子によって引き継がれ、その子によって完成される。

20 彼らは解放されました。今やメシアが現れた。彼らが東の国で見た星は、まことに、メシアの到来を告げるものでした。神は約束を果たされた。神共にいます。「インマヌエル」の徴こそ、この幼子でした。メシアが生まれました。彼らは喜び、彼らは礼拝を捧げて、喜んで帰ってゆきました。今や彼らは神と共にありました。神は彼らと共にありました。こうして、幼子を礼拝する者は誰もが、「主が共にいて下さる」という喜びをいただくのです。